

令和5年度町民活動推進補助金事業採択審査結果

順位	申請団体		申請事業名	事業計画	補助希望額(円)	大磯町補助金等評価委員会の評価			
	団体名	代表者				評価点(平均)	補助額	補助率	査定額(円)
1	谷戸川溪谷をきれいにする会	鳥養 淳子	谷戸川自然再生プロジェクト事業	<p>【事業目的】 谷戸川の森が町民の生活を支え、憩いの場になることを目指す。谷戸川の荒れた土壌を補修し、土地本来の植生に転換できる状態に導き、大磯の森を再生する。</p> <p>【事業計画】 ●2023年5～6月：環境生態学の研究者を招致。現場検証の上、土壌管理と植生再生方法の指導をうける。 ●2023年6～12月@A地区 1) 杭、炭、粗朶を制作し、水脈溝や点穴を作成。土壌が弱い地域から土中環境を整える。 2) 風の草刈りを行い、樹木の根を整える。 3) 風の剪定を行い、自然樹形に戻し、風通しをよくする。 4) 水脈の確保。生沢付近にみられる湧水地域の竹や岩などを撤去し、水脈を確保、水を流す。 ●2023年12～3月 5) 潜在植生の種を採取。ポットなどで育樹（イベント）し、2年後の植林を目指す ●2024年4月：植樹祭 ●2025年4月：B地区の緑化作業の開始 ●2026年5月：C地区の緑化作業の開始 従来の美化活動は継続して行う。尚、森として安定するまでには3年から5年かかる。それまでは手入れが必要。</p>	137,000	29.8	満額補助	—	137,000
2	一般社団法人海鈴大磯	富山 昇	「ふるさと回帰支援センター大磯」大磯移住・定住支援事業	<p>【事業目的】 コロナ禍の中でリモートワークが進み、コロナ終息後も新しいワークスタイルが定着する中、東京・及び近隣都市部から県西部地区への移住が拡大している。昨年に続き、大磯の持つ地域力や特性を幅広くPRし、交流人口から関係人口に繋がり、移住人口の増加と定住の促進につなげることで、大磯の地域づくりに関わる移住者の支援と、地域力向上 = 「住み続けられるまちづくり」を実現する。移住の最終目的である移住者の希望する移住物件についても協力体制を組織化する。</p> <p>【事業計画】 令和2年度の11月に大磯町と大磯移住・定住の促進活動に関する協定書を締結し、令和4年度は、大磯の魅力を具体的に、体験ツアー開催・ふるさと回帰フェアへの参加で具体的な需要を呼び起こし、移住希望者へのきめ細かいフォローにより移住者を確定出来た。又海鈴母屋の空き家を活用したお試し移住宿泊にもチャレンジし有効な結果を得ることが出来た。 この実績をベースに本年度（団体設立4年目）は、 ・神奈川県・大磯町との連携による「大磯移住セミナー」の開催と、セミナー参加者へ継続フォロー ・「ふるさと回帰支援センター大磯」として大磯移住お試し移住施設案内パンフ作成。 ・「ふるさと回帰フェア」へ町に協力して出展と、大磯移住希望者への現地案内などの対応 ・大磯魅力体験イベントの四季ごとの開催と、お試し移住施設を活用した新たな移住体験イベントの開催や、移住希望者と磯人ネットワークメンバーとの交流会を実施。また、本年度の活動成果を基盤に、お試し移住施設の運営などの事業の拡充及び本プロジェクトの体制強化など、未来へ向けたステップアップを目指す。</p>	250,000	27.4	満額補助	—	250,000
3	携帯電話基地局問題研究会	村越 史子	大磯町携帯電話基地局研究事業	<p>【事業目的】 近年増加している携帯電話基地局の設置、改造からもたらされる電磁波による健康や環境への影響について学んで、町民にその電磁波の影響を啓発するなどの取組をして、町民の健康や環境を守ることを目的とする。</p> <p>【事業計画】 ■令和4年度、団体設立。電磁波の影響について勉強会、学習会を行い、地域と情報を共有しながら調査研究を行う。 ■令和5年度、定例会（月1回）電磁波について研究。 ・6月に携帯基地局からの電磁波をテーマに専門の講師を招き講演会を持つ。 ・町内に設置されている基地局の場所を調査、電磁波の測定をする。 ■令和6年度以降、研究成果や調査結果を町民や各地域などに発表、報告を行い、その経過や新たな課題などについて引き続き講師を招いて講演会を持ち、電磁波の影響についてさらなる研究や啓発に取り組む。</p>	80,000	22.4	—	—	0
4	コーロ・アイビー	福島 佐代子	女性コーラス事業	<p>【事業目的】 コロナウイルス感染症拡大により、外出・人との交流が減ってしまい、みなで歌を学び聴くことを通じて、外出する機会を増やし、女声コーラスの輪を町全体に広げ、交流を活発にすることにより、町民が心身ともに豊かで健康的な生活を送ることを目的とする。</p> <p>【事業計画】 ■令和3年12月 団体発足。会員募集・活動場所の確保・規約の作成。 ■令和4年 歌のレベルアップを図るべく指導者を迎える。 ■令和5年 定期的に練習し、11月には大磯文化祭に参加したい。発表の機会や場所の検討。 ■令和6年 町内の各地域・老人ホームなどへの訪問。町の身近な場所での集会に参加・会員の拡大を目指す。</p>	61,000	17.4	—	—	0
					528,000	—	—	—	387,000